

植物こぼれ話

一夜の華・月下美人

花火は夏の風物誌である。夏の夜空に大輪の花を開いてさっと消えていく。一瞬の美しさであるが人の心に安らぎを与えてくれる。

これと同じように一晩だけ、しかもほんの2～3時間だけ写真のような純白でなんとも言えない芳香を放って大輪の花を咲かせ、眺める人の心を慰め安らぎを与えてくれる植物がある。その名を「月下美人」という。

「月下美人」 優雅な名前の植物である。中南米原産のサボテン科クジャクサボテン類の一種で、茎は緑色扁平、高さ1.5～2mにもなり、長楕円状で厚みのある葉を多数つける。夏から秋に葉の縁から花芽を出し、それが次第に大きくなって葉の縁から長さ20cm前後の細長い花筒を伸ばし、その先に直径20cm、

花卉20枚前後の純白の大輪の花を咲かせ芳香を放つ。花は夕方から蕾が野球のボールぐらいの大きさにふくらみはじめ、午後の8時頃に満開になる。やがて夜の12時過ぎには閉じて、翌朝には完全にしぼんでしまう。花の咲いている時間はほんの2～3時間。正に夜の花「月下美人」の名にふさわしい。見事な花を咲かせ、見事な雌しべ雄しべが揃っているが実は結ばない。普通植物が花を咲かせるのは種子を結実させて子孫を残すためであるが、月下美人の花は種無しの無駄花で植物の常識からはずれている不思議な植物である。

多数の花がいつせいに咲く姿は実に壮観で、人の心をなごませるためにだけ咲く人間孝行な植物である。月下美人に感謝、感謝。

(廣田伸七)



▲月下美人、美人薄命といわれるように、月下美人の花もわずか2～3時間の命。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小川 奎
発行人 植調編集印刷事務所 元村 廣司

発行所 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話 (03) 3833-1821 (代)
FAX (03) 3833-1665

平成21年7月発行定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第43巻第4号

(送料270円)

印刷所

(有)ネットワン